

統計解析の基礎知識 (PC携帯必須授業)

[講義の目的]

統計解析は、主に多数例の症例を纏める為や、新規のアンケート作成などを含んで、学術的にアロマセラピーを理解する為に不可欠なバックグラウンドであるが、統計解析について簡単なソフトウェアの扱い方などを実際の操作を通して学び、各症例からコンセンサスを得られる能力を身につけることを目標とする。

[講義の概要]

統計の意義と統計法の種別について簡単に解説した後、実際のソフトウェアを利用した演習を行う。

特に自治医科大学の神田らが開発したフリーかつ高機能の統計アドインである、Easy R

(<http://www.jichi.ac.jp/saitama-sct/SaitamaHP.files/statmed.html>)を用いて、用意したサンプルデータの解析を実際に行う。予定としては、ノンパラメトリック検定による前後比較データの統計および、 Kaplan-Meier法による生存曲線の描画を演習する。

[講義の到達目標]

1. 統計解析の意義について理解する。
2. 統計ソフトウェアの使い方と種類について理解する。
3. Kaplan-Meier法の手法を理解する。
4. ノンパラメトリック検定による介入の評価を理解する。

時限	テーマ	内容と到達目標	担当
1	統計学演習	<p>統計学について、臨床および簡単な研究における最低限の理解を持つことを目標とする。(特に統計学的な数式の解説などは行わない。)</p> <p>また、サンプルデータを用いた演習を通して、症例から予後进行分析できることと、アロマセラピーによる介入の前後で、生理学的な数値や評価尺度上での数値の変化などを正しく読み解き、確率的に有意な変化であったかどうかを判定することができるようになることを目標とする。</p>	神保太樹